

## 教育課程

### 1 学校の教育目標

児童・生徒一人一人の人権を尊重し、障害の特性等に応じた専門的な教育を推進するとともに、個性を伸ばし、豊かな人間性や社会性を育み、自立し社会参加できる児童・生徒を育成する。

### 2 高等部就業技術科の教育

#### (1)高等部就業技術科の教育目標

企業就労に必要な基本的な資質・能力を養い、地域社会の中で自立し、生涯にわたって心豊かに生きていく人間を育成する。

ア 健康で、豊かな心と丈夫な体を養う。

イ 自ら学び、自ら考え、主体的に行動する力を育てる。

ウ 勤労意欲を高め、企業就労に必要な基本的な知識・技能・態度を養う。

エ 豊かな情操を育み、社会性や規範意識を養う。

オ 社会の一員としての自覚を育て、地域社会に貢献しようとする意欲や態度を養う。

#### (2)学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 就業技術科では、生徒全員の企業就労に向けて専門的な職業教育を実施する。

イ 就業技術科には、職業に関する教科に基づく職業教育の系列として、流通・サービス系列と家政・福祉系列を設置する。

ウ 流通・サービス系列には、ビルメンテナンスコースと流通・都市農園芸サービスコース、家政・福祉系列には、食品加工コースと介護・コミュニケーションコースを設置する。

エ 各コースでは、企業の専門家等を活用して、専門的な職業指導を行う。

オ 第一学年のトライアル実習（校内模擬実習）や就業体験（インターンシップ）、第二、三学年の産業現場等における実習などを行い、専門的な職業能力の育成を図るとともに、生徒の職業適性を的確に把握していく。

カ キャリアガイダンスの時間では、社会での基礎的な表現能力や対人関係能力等、ライフスキルの向上を図る。

キ 企業就労に必要な学力や体力、社会性等を育成するため、基礎・発展・応用の各段階の各教科の指導内容・方法等を具体化し、指導していく。

ク 二学期制を導入し、十分な授業時間数を確保するとともに、休業中には、各種検定対策等の充実を図る。

ケ 生徒全員参加の委員会活動、部活動を実施し、組織の一員としての主体性、自主性、協調性の伸長を図る。

コ 職業教育を主とする専門学科間の連携を強化し、就業体験先の情報交換や生徒指導の情報交換を行い、個に応じた指導の充実に努める。

サ 東京 2020 レガシーでは、共生社会の実現に向けて、家庭や地域等と連携を図りながら、東京 2020 大会以降も障害者スポーツ等を通じた交流を取り進むなど、教育活動と関連付けて授業を工夫し、生徒の興味や関心を喚起する学習活動を引き続き計画的に進める。

シ 保健体育、部活動を通して生徒の体力・運動能力を的確に把握するとともに、生徒の「体力の向上」「豊かな心」や「健やかな体」の育成を目指したスポーツ教育を推進する。

ス 生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育て、生涯を通じて芸術活動を楽しむことができるよう、音楽・美術の授業や部活動において芸術教育の充実を図る。

セ 本人及び保護者との十分な相談に基づき、学校生活支援シートを作成し、個別指導計画の内容の充実を図る。また、進級や関係機関との連携のツールとして有効に活用する。

ソ 個別指導計画の作成に当たっては、本人及び保護者の願いや的確な実態把握に基づく指導課題を踏まえ、個に応じて、できることを生かした具体的な指導目標を設定し、指導内容・方法や教材・教具等を工夫する。

タ 個別指導計画に基づく指導の評価に当たっては、学習の習得状況や成長・発達の様子などについて、常に具体的かつ客観的な評価を行うことに努め、「授業記録」の取り方や整理の在り方を工夫する。